

# 「ねこ」が話題になっています！

森の里一丁目自治会

ここ数年、役員会・班長会では一丁目にいる「ねこ」のことを話題にして、何度も話し合いをおこなってきています。自治会としては○なのか×なのかという結論を出せることではないので現段階では話し合いをすることで、意識を高めていくしかないのだろうと考えています。話題に上がるのは以下のようなことです。

- 野良猫がうちの庭に入ってくる（公園の砂場や庭に糞をしていく）
  - 動物アレルギーがあるから猫に近づかせたくない
  - 鳴き声がうるさい
  - 猫にえさを与えるから集まってくるので、やめてほしい
  - 餌やトイレの場所をしっかり決めてほしい
  - 捕まえて処分してほしい
  - 命あるものを処分なんてとんでもない
  - 法律では人と動物の共生する社会の実現を目指している
  - 人と動物の共生に配慮しつつ、その習性を考慮して適正に取り扱うようにいなければならない、なんかしてあげたい
- 等々

この話は、全国多くの自治体で話題になっていることです。地域には、猫が好きな人、無関心な人、嫌いあるいは苦手な人が混在して住んでいます。神奈川県や厚木市では「地域猫活動」というものを展開しています。これは、飼い主のいない猫を勝手気ままな「飼い主のいない猫」として放置するのではなく、猫の嫌いな人にも、ある程度許容してもらえらる「地域猫」として一定の管理をして見守っていこう、将来的に「飼い主のいない猫」を減らしていこうという考えです。（野良猫の処分はできないのです。また、大半は数年しか生き延びることはできないそうです。）



一丁目では、数年前から TNR 活動を行っています。野良猫の繁殖を抑え、数を減らすことを目的に、ボランティアにより猫を捕まえて（Trap）、不妊去勢手術を行い（Neuter）、元いた場所に戻す（Return）という取り組みです。効果はかなり上がっていますが、課題はまだたくさんあります。皆さんと考えていきたいのは、どちらの立場も、お互いの考えを尊重し、住みよいまちにするにはどうしたらいいかということなのです。

まずは、こんなことをお願いします。

- えさは、特定の限定した人にお願いしてあるので、あげないでください。餌の始末もお願いしてあります。猫の移動範囲を広げないようにします。
- 飼い猫と生活されている方は、お宅の猫の行動が及ぼす近隣への影響を考えてください。不妊・去勢手術をしたり、屋内で生活させたり、迷子札や首輪をつけさせたりしてください。
- 野良猫情報をお知らせください。

会長 中川 洋太 [13yotanaka13@kzd.biglobe.ne.jp](mailto:13yotanaka13@kzd.biglobe.ne.jp)

○何かあったときは、みんなで考えていきましょう。

- ・厚木保健所環境衛生課 電話：046-224-1111 内戦 3253)
- ・厚木市生活環境課 電話：046-225-2750